

# ミカン生育情報

千葉県  
平成 20 年 1 月号

## 平成 19 年のまとめ

### 平成 19 年の気象

暖冬で、1月から3月までの平均気温は平年値より高かった。4月は1.1 低く、7月も1.5 低かった。8、9月は、平年より高かった。年間の平均気温は15.8 で、平年より0.2 高く、前年より0.4 高かった。

降水量は、1月から4月まで平年を下回った。6月も平年より少なかったが、7月は多く、梅雨明けも8月1日と平年より遅くなった。8月はほとんど降雨がなかった。年間降水量は平年の85%、前年の73%だった。

日照時間は、6月は平年よりかなり多く、7月が平年を大きく下回った。8月は欠測だったが、気象庁データ(測定地点鴨川)によると平年の109%だった。他の月は概ね平年並みだった。

表1 平成 19 年の気象(暖地園芸研究所)

月	平均気温( )			降水量(mm)			日照時間(時間)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	6.8	6.1	4.6	96	98	159	113	169	181
2	8.3	6.3	6.9	75	95	184	171	151	139
3	10.1	9.1	9.3	97	189	124	184	154	178
4	12.8	13.9	12.8	129	172	153	162	166	220
5	18.1	17.8	17.5	183	174	174	213	186	199
6	21.0	20.9	20.8	105	238	176	210	135	107
7	22.8	24.3	23.6	386	183	236	97	175	120
8	26.6	25.8	25.4	7	166	294	*	220	184
9	23.4	23.0	22.5	287	250	195	137	146	179
10	17.7	18.0	18.4	216	250	204	128	137	114
11	12.6	13.3	13.7	58	158	200	140	144	165
12	8.8	8.6	8.9	114	80	291	179	166	193
平均/合計	15.8	15.6	15.4	1749	2052	2386	*	1948	1978

### 病害虫の発生

クワゴマダラヒトリ、ミカンハダニの発生は少なかった。ミカンサビダニは一部の園地で毎年加害が見られるようになった。カメムシ類の発生数は平年以下だったが、収穫果実には加害が散見された。黒点病、かいよう病は平年並みの発生だった。褐色腐敗病の発生は見られなかった。

### 果実の生育

暖冬のため樹勢は良好で、台風による被害もなく2年連続の豊作となった。発芽期は、早生温州が4月2日と平年より7日早く、普通温州では4月14日と平年より1日遅かった。開花盛期は、早生温州が5月11日と平年より3日早く、普通温州は5月17日と平年より1日早かった。

収穫期の果実横径は、早生温州が6.4cm、普通温州が6.9cmと、それぞれ平年の98%、92%であった。これは8月の少雨の影響も大きいですが、この他に普通温州では、商品価値の低い極大果の発生率を減少させ、果実を小さめに揃えていく結実管理方法の成果が出ていることも理由となっている。

果実の品質は、8月の少雨の影響を受け、糖度は平年より高かった。9月の気温も平年以上だったため減酸が進んだ。11月の気温が低く普通温州は着色時期が早かった。糖度は平年より高く酸度は低かったため食味が良好であった。9月以降の降雨により果皮が肥厚し浮皮気味となり、果肉歩合は平年を下回った。

表2 平成19年の果実品質

種 類	横径(cm)		縦径(cm)		果重(g)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
早生温州	6.4	6.5	5.1	5.0	115	113
普通温州	6.9	7.5	4.7	5.1	127	144

種 類	着色程度		糖度(Brix%)		酸度(%)		甘味比		果肉歩合(%)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
早生温州	7.1	8.0	9.7	9.4	1.07	1.11	9.2	8.7	77.5	81.5
普通温州	8.6	8.5	10.2	10.0	0.96	0.97	10.8	10.5	74.7	75.1

注1) 早生温州(興津早生)は平成19年11月1日、普通温州(大津4号、青島温州)は12月5日に調査した。いずれも南房総市と暖地園研の3園地の平均値。

注2) 平年値は平成5~18年の平均値。注3) 甘味比 = 糖度 / 酸度

## 1月以降の栽培管理

**整枝・剪定** 剪定は、花が多いと予想される樹では切り返し剪定を主体に早めに行い、花が少ないと予想される樹では間引き剪定を主体とした弱めの剪定を遅く行う。

**春肥の施用** 早生温州、普通温州ともに3月下旬に、窒素、リン酸、カリをそれぞれ10aあたり分量で16、13、9kg施用する。有機配合などの緩効性の肥料を使用する。

**病害虫の防除** 剪定時には黒点病やそうか病、かいよう病の防除のため、枯れ枝や罹病枝葉を除去する。2年連続豊作だった園では、樹勢の回復を図るため、マシン油を散布する際に液肥を混用するとよい。4月には、芽の長さが1cmくらいの時期にそうか病の薬剤防除を行う。5月には、開花期にコアオハナムグリやアブラムシの防除を行い、落花直後にそうか病や黒点病の防除を行う。

### 《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農業総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹研究室 電話 0470-22-2961  
果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。 <http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/>